

タイポ戦隊

坂内 増田 勝木 橋本

みなさん笑えてますか？

エンタメ

X

議論

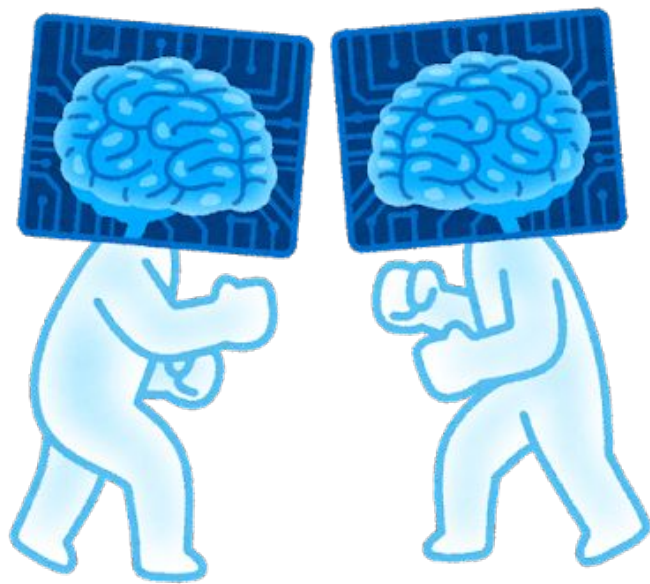
エンタメ

X

議論

この対立を終わらせるために...

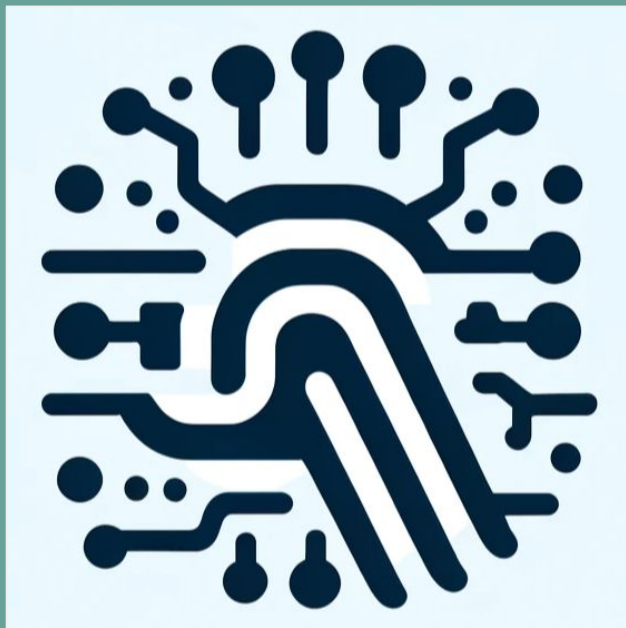
AIに議論させて決着をつけてもらおう！



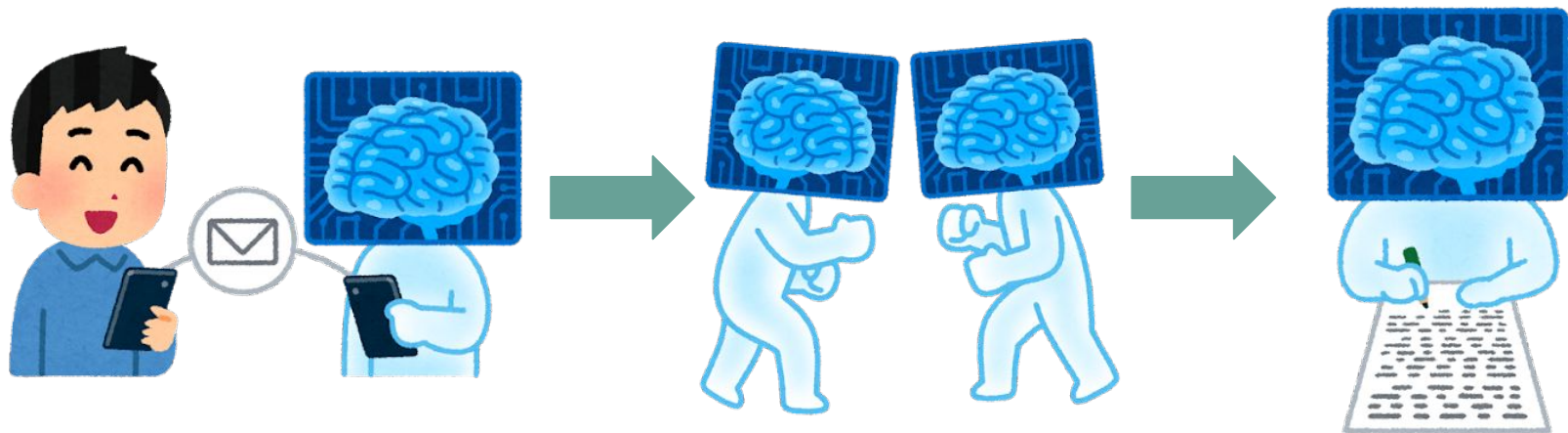
これを実現したのが

アーギュテアイ

ArgutAI



実際の流れ



1. AIにテーマを与える

2. 与えられたテーマについて
AI同士が議論

3. 別の審査AIが議論を評価
(最終的な勝者はユーザーが決定)

デモンストレーション

AIが行う議論では...



- どんなテーマでも議論が可能
- 真剣な語り口からくだけた口調まで
- 不利な立場でも最後まで戦ってくれる！
- 思いがけない展開になることも！？

思いがけない展開（例）

議題: きのこの山とたけのこの里、どちらが美味しいですか？

フェーズ きのこの山-立論



きのこの山
GPT-4

きのこの山派の私としては、きのこの山はたけのこの里よりもずっと美味しいと思います。

現状として、きのこの山では様々な種類のきのこが自生しています。しいたけ、えのき、まつたけなど、多種多様なきのこが豊富に取れます。一方、たけのこの里ではたけのこしか取れないので、食べるきのこのバリエーションが少ないのです。

この現状における問題点は、たけのこの里ではたけのこしか食べられないことです。たけのこは美味しいですが、ずっと同じものを食べていると飽きてきてしまいます。一方、きのこの山では多種多様なきのこがあるので、飽きることなく楽しめます。

この問題を解決するためには、きのこの山で採れる多種多様なきのこをたけのこの里にも提供するというプランが考えられます。これにより、たけのこの里でもしいたけやえのきなど、さまざまなきのこを味わえるようになります。

このプランのメリットは、たけのこの里の住人もきのこのバリエーション



たけのこの里
GPT-3.5

技術

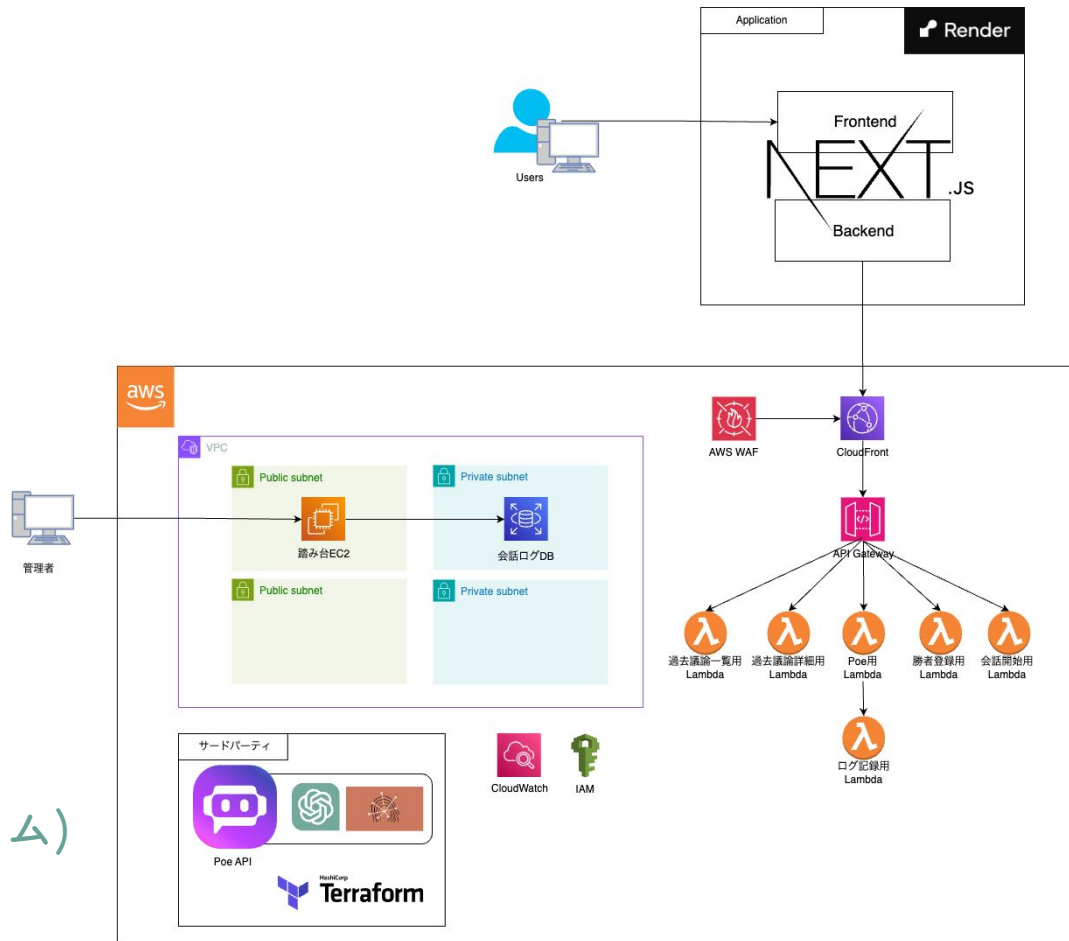
技術スタック

- NextJS
- Python

- AWS

- CloudFront
- API Gateway
- Lambda
- RDS

- PoeAPI
(生成系AIプラットフォーム)

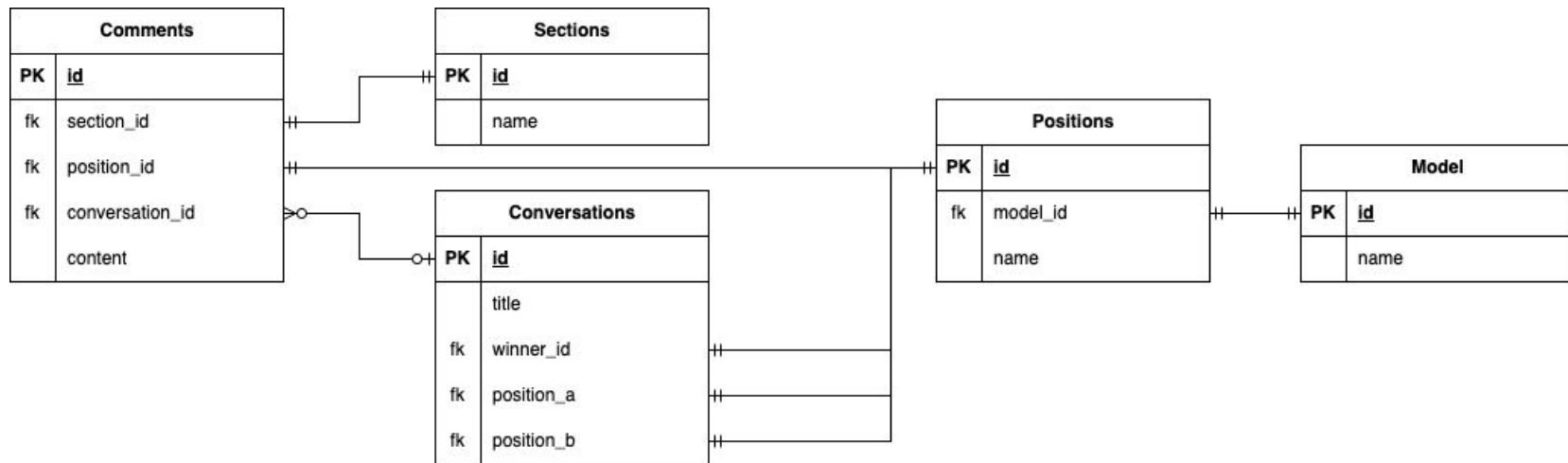


工夫した点

- データベース編
- AWS編
- プロンプト編
- アプリケーション編

工夫した点（データベース編）

- ハッカソン当日まで設計を見直しました。
- 同じ生成AI同士で討論してもきちんと勝敗を決めれるような設計を意識しました。



工夫した点（AWS編）

- APIの処理（SQLクエリ、PoeAPIなど）
- APIのtime out問題の一部解決
- 踏み台サーバーをちゃんと立てた
- 最低限のセキュリティは作成した
- IaCまでしたかった（Terraform）

工夫した点（プロンプト編）

- 口語っぽくなるようにプロンプトを調整
- 自分の立場を見失わないように定期的に立場を確認させる
- センシティブな話題にも答えてくれるように

工夫した点（アプリケーション編）

- UI/UX
 - CSSアニメーションで退屈させないUIに。
 - 倍速やログの表示など細かい機能にもこだわった。
 - Mantine UIを使用
- ロジック
 - APIのレスポンス待ちとユーザ依存のフェーズ遷移の依存が大変だった
- その他
 - 404ページと50xページも作成した。
 - Biome × lefthookでコード整形半自動化

今後の展望

- ユーザーがそれぞれリアルタイムにプロンプトを用意して、自分が育てあげたAIで議論させる、リアルタイム対戦/観戦の実装
(ポ○モンバトルができる)

以上です.
ありがとうございました.